

取扱説明書

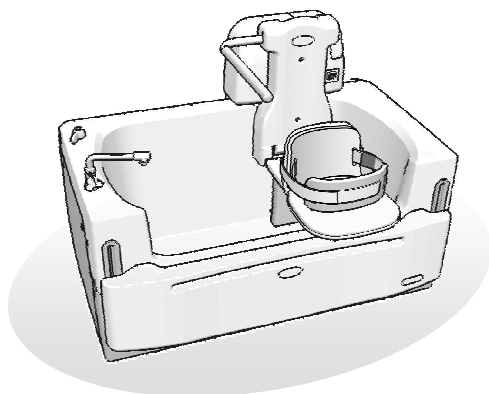
Pansy*i*

パーソナルケア浴槽 パンジー*i* (アイ)

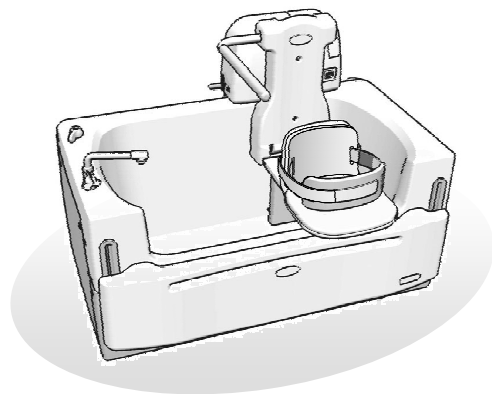
PNS-320DC

PNS-310 DC

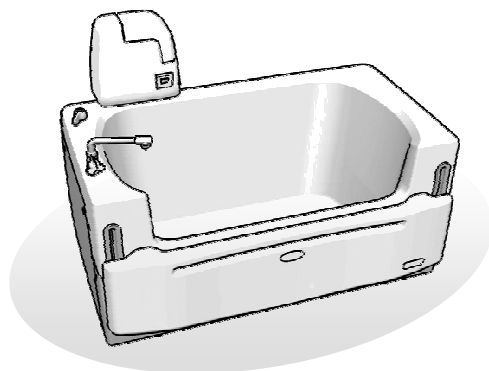
PNS-300 DC



PNS-320DC



PNS-310DC



PNS-300DC

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、
ご使用前にこの「取扱説明書」をよく
お読みください。

＊「取扱説明書」は

- ・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
- ・1部を保存用として、大切に保管してください。

用途

本製品は、介助を必要とする入浴者を快適かつ容易に入浴させることのできる入浴装置です。

特長

★介助性が良い

浴槽側面を開閉式扉にし、かつシート上面のスライドシートにより浴槽へのトランスファーを容易にしました。

★介助力の省力化

扉シール、扉ロック解除の自動化により、介助力の省力化を図りました。

★清潔で衛生的な入浴方法

一回の入浴毎に湯を全量又は、半量入れ換わる清潔で衛生的な入浴を行なうことができます。

★安全機構を装備

電源スイッチを設け、誤動作やいたずらによる事故の発生を防止しています。又、下降時、シートの下に足や物が挟まった場合に下降が停止する安全機構を備えています。

★設置が容易

据え置き浴槽の為、浴室の掘込み工事の必要もなく、設置が容易です。
(電気工事も必要ありません)

★入浴者の身体機能レベルに合わせた手厚い介助を実現

多彩なオプションの組合せにより、入浴者の身体機能レベルに合わせた介助が可能です。

★バッテリー容量を表示

バッテリー容量をお知らせするインジケータを装備しています。

もくじ

安全上のご注意	4
各部の名称 PNS-320DC	9
各部の名称 PNS-310DC	10
各部の名称 PNS-300DC	11
ご使用になる前に	13
本製品による入浴のできない方	13
入浴剤について	13
給湯水圧	13
操作方法（各部）	14
バッテリーの容量確認	14
バッテリーの脱着	15
充電	15
昇降ユニットの横行操作（PNS-310のみ）	16
手すりの操作	17
手すりの付け替え、脱着	18
給湯操作	19
排水操作	20
扉の開閉	21
シートの昇降操作	22
スライドシートの操作	23
安全ベルトの装着	23
入出浴手順 PNS-320DC、PNS-310DC の場合	24
入出浴手順 PNS-300DC の場合	29
入浴終了後の操作	32
各種オプション品の取扱	33
浴槽縁手すり（PN-220）	33
トランスファー手すり（PN-230）	34
移乗台（PN-250）	34
日常のお手入れ	35
清掃	35
スライドシートの跳ね上げ	35
座面マットの脱着	36
背当てマットの脱着	36
安全ベルトの脱着	36
薬液について	37
このようなときには	38
機器の保守・点検について	39
保証とアフターサービス	40
仕 様	41

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

-  **危険** … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの
-  **警告** … 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの
-  **注意** … 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

-  **禁止**：してはいけない「禁止」内容のものです。
-  **強制**：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

充電

警告

-  **付属の専用充電器以外は使用しないこと**
バッテリーの充電性能や寿命に悪影響を与える恐れがあります。
-  **バッテリーの電極に触れないこと。濡らさないこと。**
感電する恐れがあります。

注意

-  **バッテリーの残り容量に注意**
容量表示が 25%(コンセントマーク表示)になったら充電してください。表示が 25%より少なくなると充電ができなくなります。
-  **乾燥した場所で充電及び保管**
漏電等を避けるため、浴室や湿気の多い場所で使用しないでください。使用後は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。
-  **長期間使用しない場合でも、1 か月に一度は充電**
バッテリーは自然放電をしますので使用しない場合でも充電が必要です。
-  **充電中は充電器の表面温度に注意**
充電中は充電器の表面温度が 50℃位まであがりますので、やけどに注意してください。
-  **差込プラグを抜くときはプラグを持って抜く**
コードを引っ張って抜くと断線し、感電やショートを起こし発火することがあります。
-  **バッテリーを充電器へ脱着するときや持ち運ぶときは、落とさないように注意**
足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

⚠ 危険**次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意**当社指定外の薬液を使用しない**

イオウ系の薬液等は浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させます。ご使用になり装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

**入浴中に薬液の投入は行わない**

入浴者に健康被害を及ぼす恐れがあります。

**推奨濃度より濃い濃度で殺菌しない**

機器の破損につながる恐れがあります。

**薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む**

- 各注意事項をお守りください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。スライドシートや床の変色や劣化、フレーム等の錆の原因となります。

**薬液を使用したときは、入浴作業終了後、きれいに洗い流す**

残っていると、変色や錆の原因となります。

**着色性及びイオウ成分の入った入浴剤は、使用しない**

ご使用になると、よごれを落としにくくなったり、金属の腐食等を起こす恐れがあります。

⚠ 注意**昇降ユニットは、ロックされる位置までスライドさせること**

左右にスライドさせるときは、ロックされる位置までスライドさせること。

**昇降ユニットの横行操作時は、入浴者を乗せないこと**

入浴者を乗せたまま横行操作をすると、けが及び破損をする恐れがあります。

**昇降ユニットの横行操作は、シートが上限位置の状態で、ゆっくりと行うこと**

上限位置以外の状態で横行操作を行ったり、早く行くと浴槽が破損する恐れがあります。

**昇降ユニットの横行操作後は、シートの位置に応じて手すりを付け替えること**

手すりを付け替えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり破損する恐れがあります。

警告

- ！ 入浴前に浴槽内の湯温に注意**
入浴前に浴槽内の湯温が適温であることを手で確認してください。確認しないで入浴させると入浴者にやけどを負わせる恐れがあります。
- ！ 給湯や差し湯をするときに、必ず手で温度を確認**
温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で差し湯をする場合には、十分注意してください。
- ！ スライドシートへ移乗させるときは、座面マットの中央にお尻が乗るようにゆっくり移乗させること**
スライドシートの端に極端に荷重が掛かった状態だと、スムーズにスライドさせられないことがあります。
- ！ スライドシートの浴槽内へのスライドはゆっくり**
入浴者を浴槽内にスライドさせるときは入浴者の体を支えてゆっくりスライドさせてください。急いでスライドさせると転倒の恐れがあります。
- ！ スライドシート使用時は安全ベルトを使用**
スライドシートを使用するときは、安全ベルトを使用してください。
- ！ 扉の下降時に指先の挟み込みに注意**
扉の下降時、扉と浴槽の間に指先が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。
- ！ シートの下降時または上昇時の挟み込みに注意**

 - スライドシートを下降させるときはスライドシートと浴槽底面の間に入浴者の手足が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。
 - スライドシートを上昇させるときは、バルブ付き給湯カランなどに入浴者の肩等がぶつかり、けがをする恐れがあります。
 - スライドシートを上昇させるときは、入浴者の指先等の安全を確認してから、シートを上昇させてください
- ！ 入浴中の入浴者の状態に注意**
水没等がないように、常に看視してください。
- ！ 扉シールを解除する前に必ず浴槽内の湯を扉開閉時水位まで排水する**
扉開閉水位より湯があるときに扉シールを開けると水圧で、多量の湯が一度に放出され危険です。また、ユニットバスや狭い浴室の場合、脱衣室に一度に放出された排水が進入する恐れがあります。
- ⊘ バッテリー交換は入浴中には行なわない**
バッテリー交換を入浴中に行なうと、感電または落とすことによりけがをする恐れがあります。

注意

- ！ リモコンの取り扱いに注意**
床に落としたり足で踏んだりすると故障の原因となります。
- ⊘ 扉を上昇させるときはスライドシートを浴槽内へ最後までスライドさせる**
最後までスライドさせないで扉を上昇させると、破損する恐れがあります。
- ！ ストッパーマットを使用しないときは、浴槽内に落下しない場所に置く**
入浴操作中に落下すると、挟み込み等を起こし事故や故障の原因になります。

 注意	
	スライドシートの端に荷重をかけない スライドシートの端に荷重をかけてスライドさせると、身体の一部を挟み込んでけがをしたり、スライドシートやレールフレームが破損する恐れがあります。
	清掃時にリモコン及び昇降ユニット上部のカバーにシャワー等で水をかけない 水がかかると電気系統の故障の原因になります。
	スライドシートを跳ね上げるときは、レールフレームを持って跳ね上げる スライドシートや台板を持って跳ね上げると破損する恐れがあります。
	シートは最後まで跳ね上げてシート固定ベルトで固定する 固定しないとシートが倒れてけがをする恐れがあります。
	スライドシートを上限まで上昇させ、バックレスト（腰当）を扉側に回転させてからスライドシートの跳ね上げを行う 定位置以外でスライドシートを跳ね上げても固定できません。
	入浴しないときは、扉シールを作動させない 長時間シールをしたまま放置すると、シール性能が低下して水漏れする恐れがあります。
	使用後は、必ず浴槽内の湯を排水する 水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなるので、必ず浴槽内のお湯を排水し、清掃してください。
	使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる 湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。
	安全ベルトの損傷に注意 ほころび始めたり、切れかかってきたりしたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。
	マットの損傷に注意 古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。
	昇降ユニットカバーに荷重をかけない 昇降ユニットカバーが破損し、けがをする恐れがあります
	この製品は、一部に天然ゴムを使用しています かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

 警告**適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理**

-  適正範囲を外れると、給湯の湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.13 給湯水圧参照)

温度調節ノブはゆっくり回す

-  急に回すと温度が急激に変化し、やけどをする恐れがあります。

高温で給湯や差し湯を使用した後は、必ず温度設定を適温に戻す

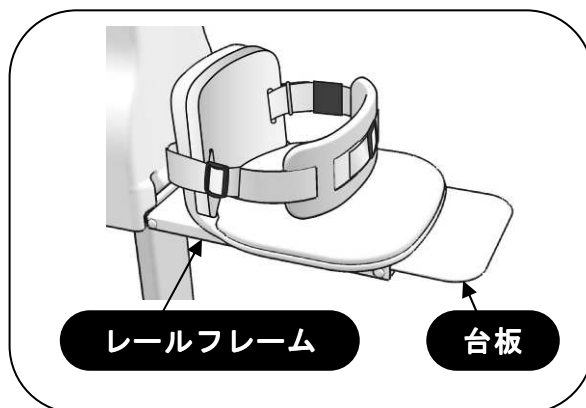
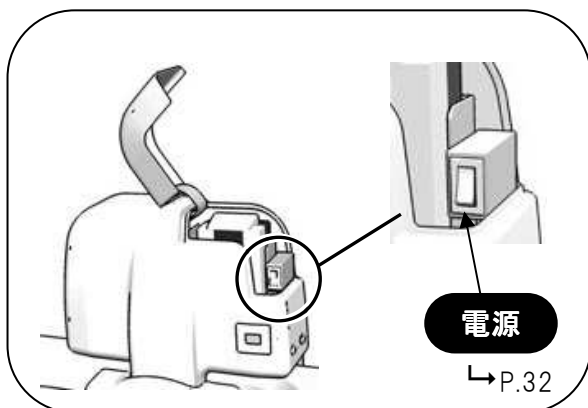
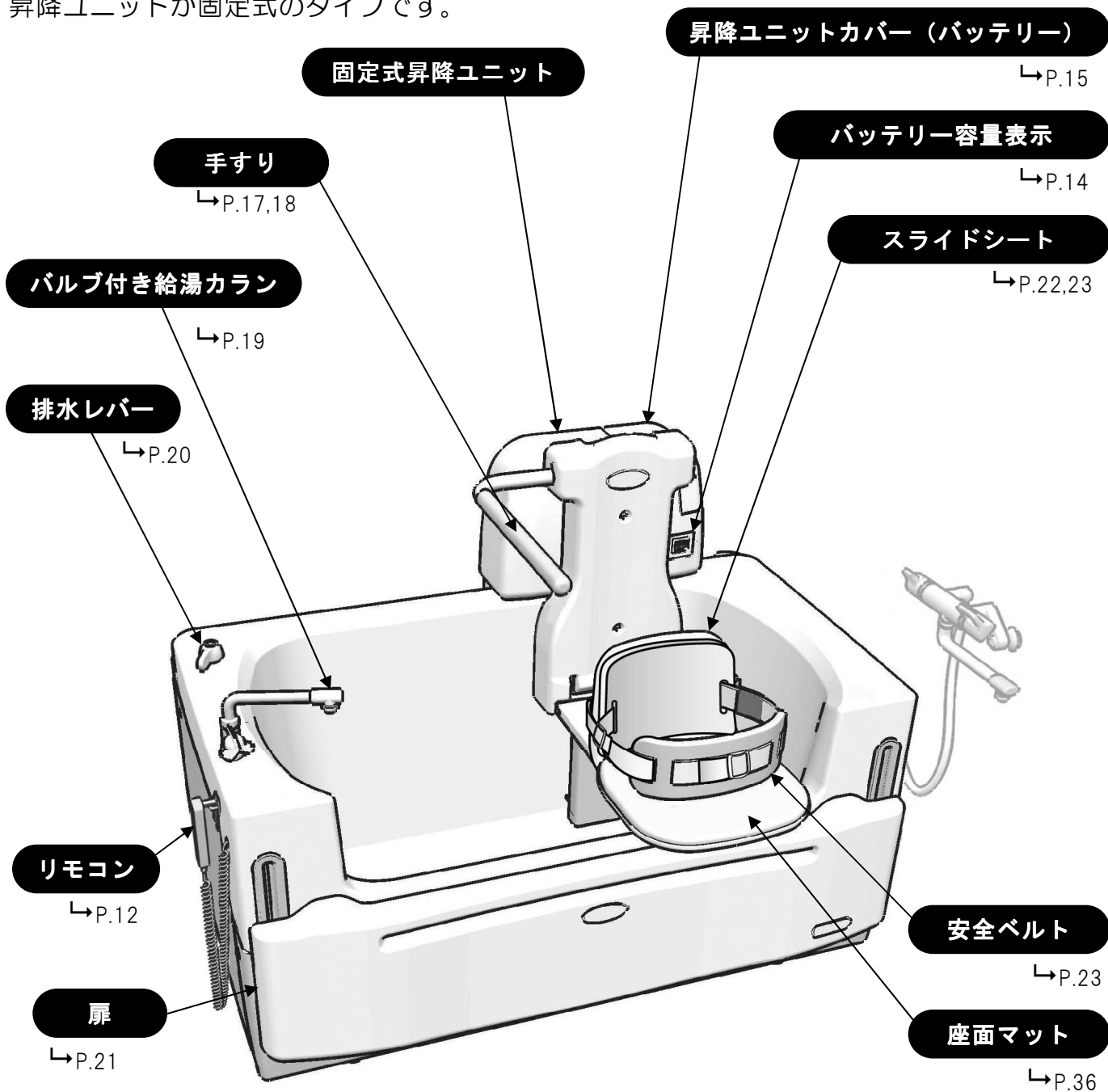
-  そのままにすると、次に使用するときやけどをする恐れがありますので、給湯ミキシングの温度調節ノブを低温側に回して、しばらく湯を流してください。

 注意**流量調節レバーはゆっくり回す**

-  急に回すと水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

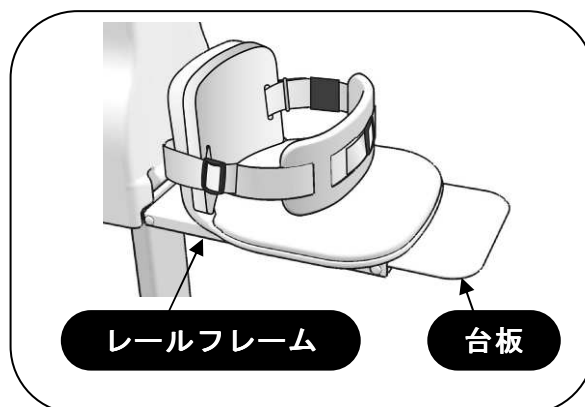
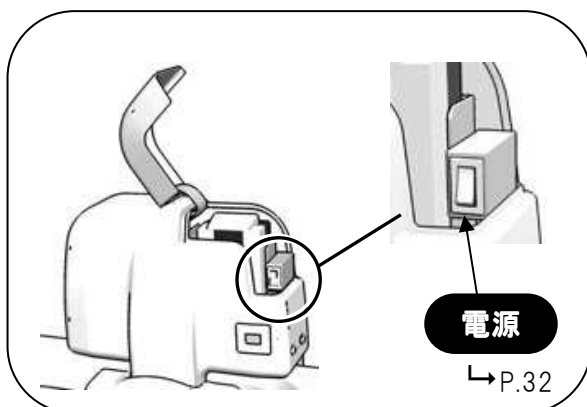
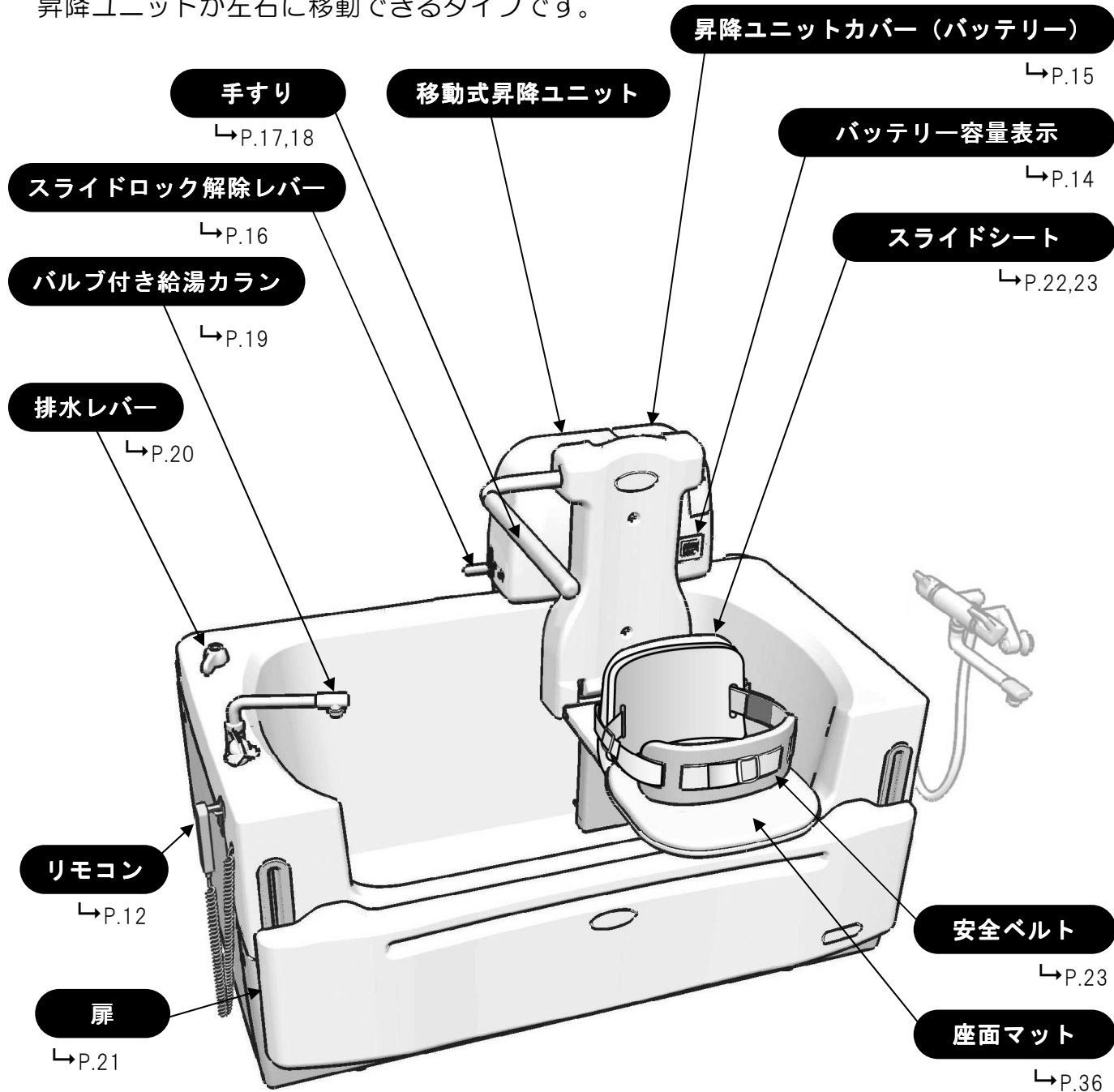
各部の名称 PNS-320DC

昇降ユニットが固定式のタイプです。

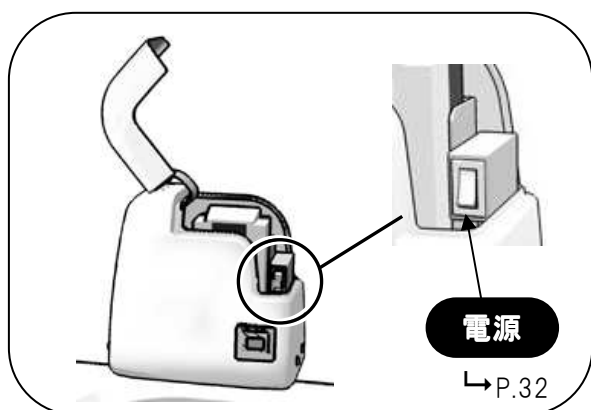
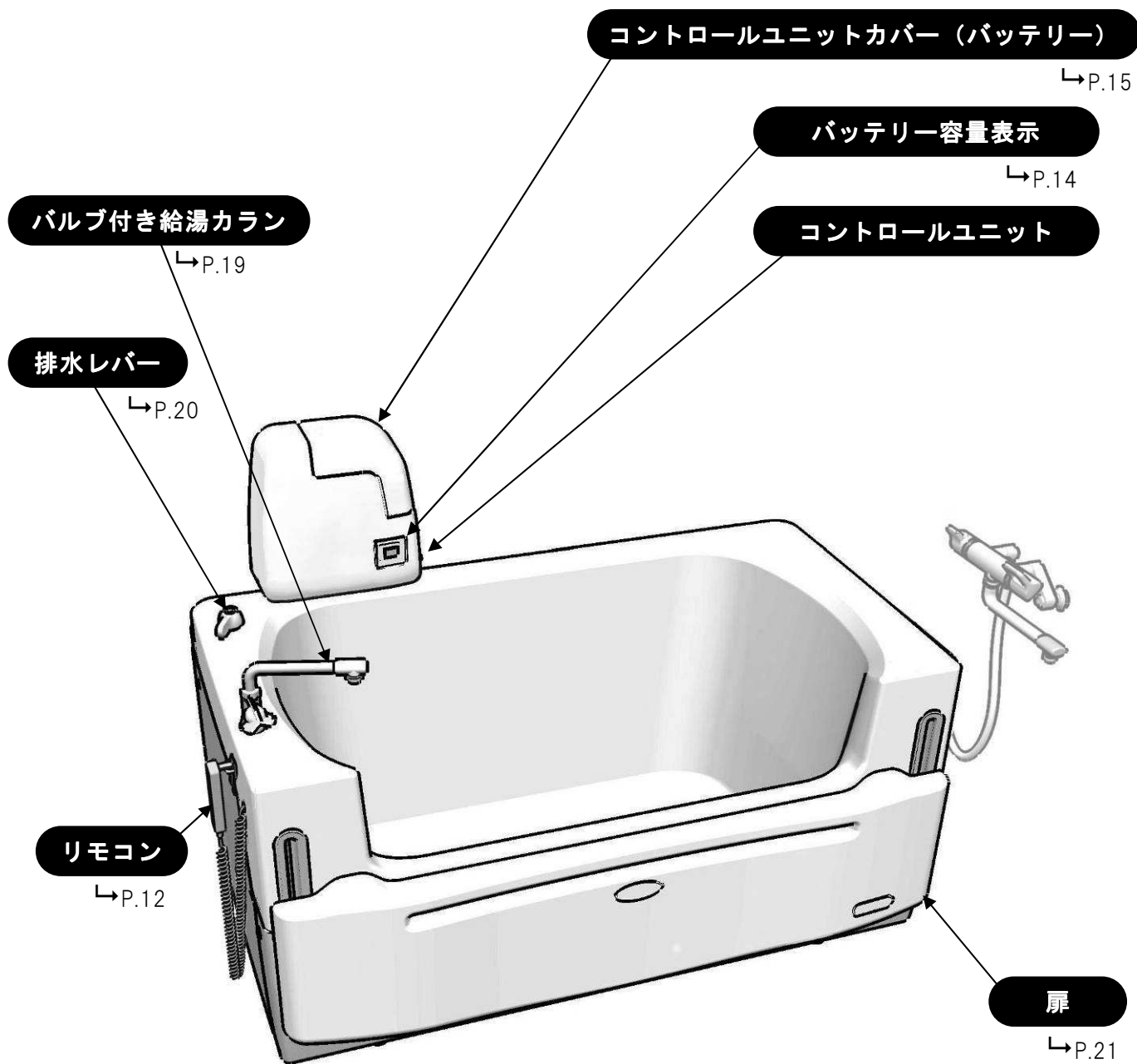


各部の名称 PNS-310DC

昇降ユニットが左右に移動できるタイプです。



各部の名称 PNS-300DC



★リモコン

PNS-320DC
PNS-310DC

PNS-300DC

シート 上昇ボタン
ボタンを押している間、
シートが上昇します。
↳P.22

シート 下降ボタン
ボタンを押している間、
シートが下降します。
↳P.22



扉シール閉じるボタン
扉のシールが作動
します。
↳P.21

扉シール開くボタン
扉のシールを解除
します。
↳P.21



ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.39 **始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。
またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切り、バッテリーを外して最寄りの営業所にご連絡ください。破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

新品時は、FRP 特有のにおいがすることがありますが、使用上問題はありません。
十分換気を行ってご使用ください。においは使っているうちになくなります。

本製品による入浴のできない方

椅子に座った状態を独力で維持できない方や、椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかったり、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

入浴前に入浴者の呼吸や脈拍、血圧、体温などに変化があった場合は、入浴を中止してください。

入浴剤について

入浴剤は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）やシール材、排水配管等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。ただし、粉末状の入浴剤は、溶け残ったものが配管内に付着すると故障の原因になりますので、使用しないでください。

給湯水圧（PN-391 のみ）

本機に供給される給湯水圧は、150～200 kPa（約 1.5～2.0 kg/cm²）が必要です。また圧力変動のないようにしてください。

給湯水の最大圧力比は圧力変動も含み 2:1 または 1:2 以内にしてください。



警告

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理

適正範囲を外れると、給湯の湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

操作方法(各部)

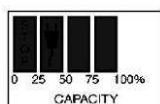
バッテリーの容量確認

1日の入浴作業前と作業後に、電源を入れた状態で、昇降ユニットのカバー／コントロールユニットのカバーのバッテリー容量表示部で、バッテリー容量を確認してください。
コンセントマークが表示されたら（容量表示 25%）、必ず充電してください。

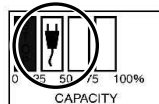
PNS-320DC
PNS-310DC



PNS-300DC



満充電



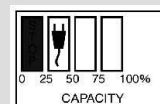
要充電



注意 バッテリーの残り容量に注意

容量表示が 25%(コンセントマーク表示)になったら必ず充電してください。表示が 25%より少なくなると充電ができなくなります。

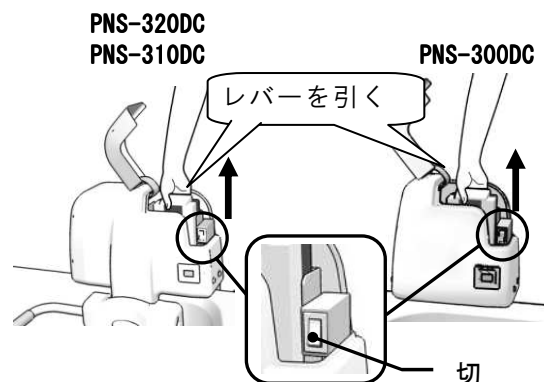
※バッテリー容量表示機能の特性上、動作中に表示が変動することがありますが、動作停止後約 1 分後に正しい容量を表示します。



バッテリーの脱着

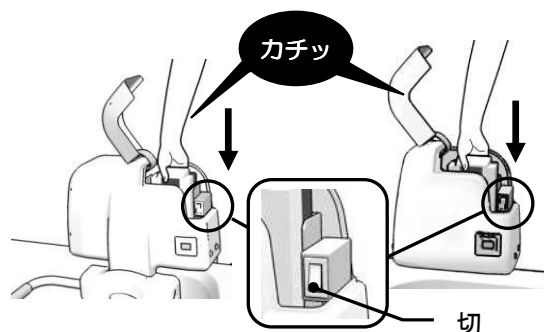
外す

昇降ユニットのカバー／コントロールユニットのカバーを開き、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、バッテリーを取り外します。



取り付け

昇降ユニットのカバー／コントロールユニットのカバーを開き、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、『カチッ』と音がするまで、バッテリーを差し込みます。



⚠ 注意 バッテリーを脱着するときは、浴槽内の湯が無いことを確認
湯の中に落とすと、感電の恐れがあります。

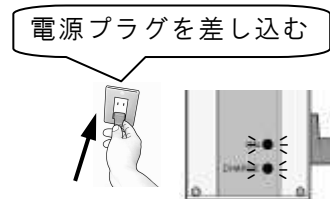
充電

1 昇降ユニット／コントロールユニットから取り出したバッテリーを専用充電器に取り付けます。

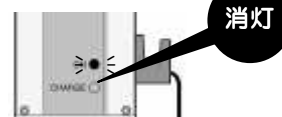


2 充電器の電源プラグを AC100V コンセントに差し込みます。

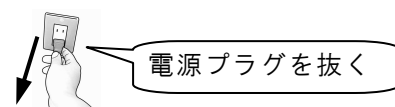
ON の緑 LED と CHARGE の黄 LED が点灯します。



3 充電が完了すると、CHARGE の黄 LED が消灯します。
満充電までは約 4 時間です。



4 充電完了後は電源プラグを AC100V コンセントから抜いておきます。

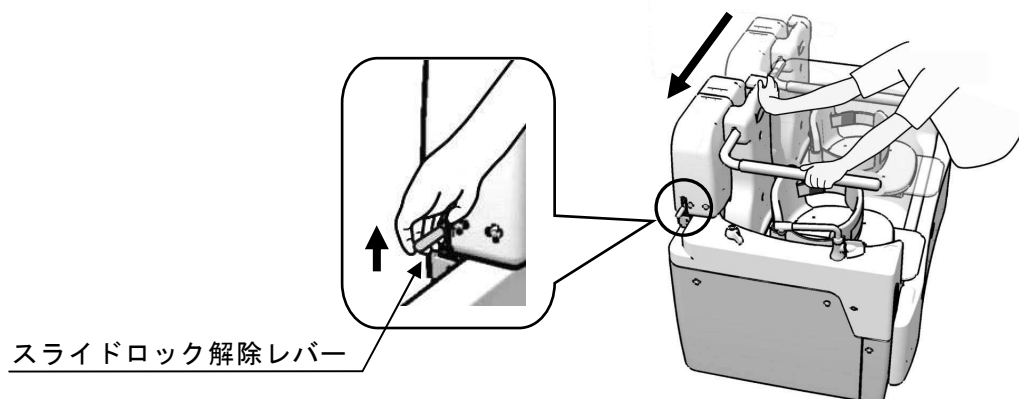


⚠ 注意 バッテリーを充電器へ脱着するときや持ち運ぶときは、落とさない
ように注意
足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

昇降ユニットの横行操作（PNS-310 のみ）

入浴者の身体状況に合わせて移動式昇降ユニットを右左どちらかの位置に決めます。

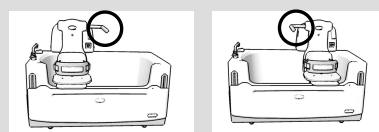
- 1 リモコンの「上昇」ボタンを押し、シートを上限まで上昇させます。
- 2 スライドロック解除レバーを上げながら移動式昇降ユニットを横に押します。
- 3 動き出したらレバーから手を離し、そのまま動かすと所定の位置で固定されます。
（シートの位置は、4 か所から選択できます。）
- 4 昇降ユニットのロックを確認します。
- 5 P.18の手すりの付け替え、脱着操作の手順に従って、手すりの位置を付け替えます。



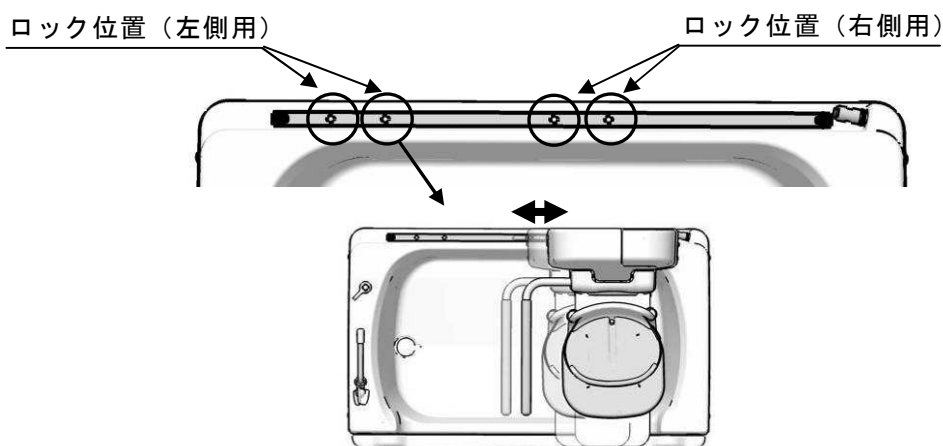
⚠ 注意 横行操作は、シートが上限位置の状態で、ゆっくりと行うこと
上限位置以外の状態で横行操作を行ったり、早く行くと浴槽が破損する恐れがあります。

⚠ 注意 横行操作後は、シートの位置に応じて
手すりの位置を付け替えること
手すりの位置を変えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり破損する恐れがあります。

浴槽中央側

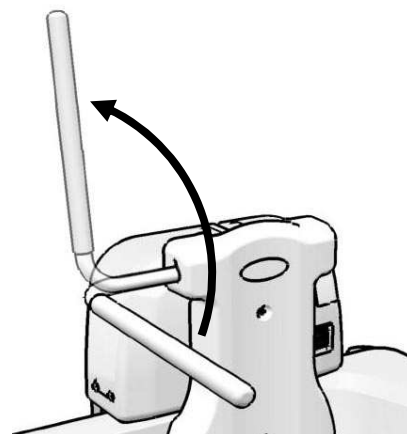


移動式昇降ユニットは、入浴者の身長に合わせ、シートの位置を前後2か所（左右合計4か所）から選択できます。



手すりの操作

手すりを使用しないときは跳ね上げることができます。
跳ね上げる際は、ゆっくり最後まで跳ね上げてください。
手すりを元に戻す際は、そのままゆっくり手すりを下げ
てください。



参考

清掃等で手すりがじゃまになる場合は、手すりを取り外すことができます。
P.18 の手すりの付け替え、脱着方法に沿って、脱着作業をおこなってください。



注意 手すりの倒れこみに注意

手すりは跳ね上げ位置でロックされません。使用しない場合は、P.18 の手すりの付け替え、脱着方法に沿って取り外してください。

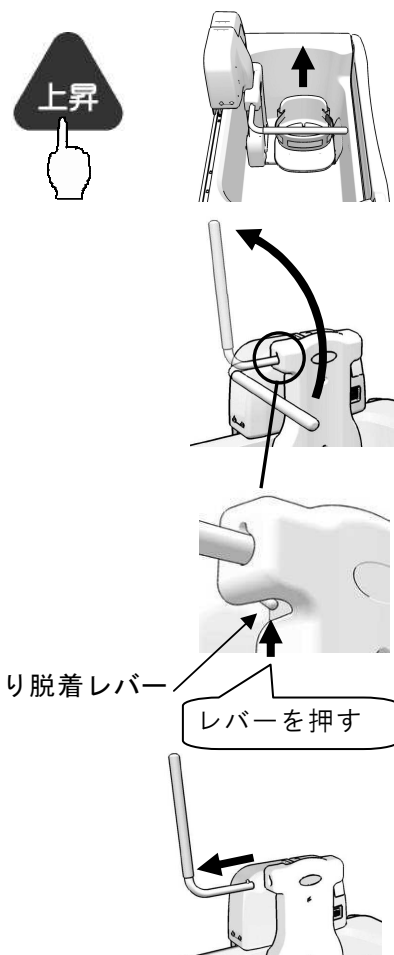
手すりの付け替え、脱着

手すりは昇降ユニットの位置に合わせて、必ず付け替えてください。

また清掃等で手すりがじゃまになる場合は、手すりを取り外すこともできます。

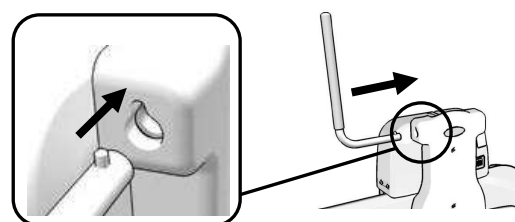
★ 手すりの取り外し方法

- ① リモコンの「上昇」ボタンを押し、シートを上
限まで上昇させます。
- ② 手すりを跳ね上げます。
- ③ 手すりを跳ね上げた状態で、手すり脱着レバー
を押します。
- ④ 手すり脱着レバーを押したまま手すりを引き
出します。

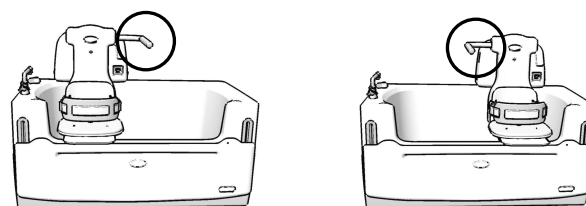


★ 手すりの取り付け方法

差し込み穴の形状に合わせて、手すりが
ロックするまで差し込みます。



※ 手すりは浴槽の中央側に向けて
取り付けてください。



注意 横行操作後は、シートの位置に応じて手すりを付け替えること
手すりを付け替えずにシートを下降させると、手すりが浴槽に当たり
破損する恐れがあります。

給湯操作

★ バルブ付給湯カランから給湯

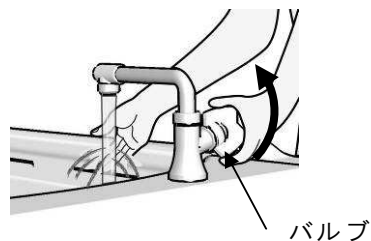
- 1 排水レバーを「閉じる」位置に回し、排水栓を閉じます。
- 2 浴室内の混合栓、またはサーモ付ミキシングで温度を調節し、バルブを開きます。
(シャワー水栓の場合は切り替えをパンジー・接続側へ切り替えます。)
- 3 バルブ付給湯カランのバルブを開きお湯を出します。



警告 給湯や差し湯をするときに、
必ず手で温度を確認
温度が高いとやけどをする恐れがあります。

- 4 扉開閉水位までお湯を貯めたらバルブを閉じて給湯を停止させます。

※浴室内の混合栓等から直接給湯する場合は、
浴室内の混合栓の取扱説明書に基づいて給湯
操作してください。



★ 給湯ミキシング付きの場合（※PN-391 のみ）

- 1 給湯ミキシングの流量調節レバーで、お湯の開閉を行います。



注意 流量調節レバーはゆっくり回す

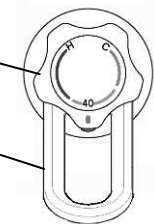
- 2 温度調節ノブで、お湯の温度調節を行います。温度調節ノブを **H** の方に回すと温度が上がり、**C** の方に回すと温度が下がります。

- ・ 高温のお湯を出す場合には、ボタンを押したまま温度調節ノブを回して調節してください。
- ・ 温度調節ノブには、誤って熱湯を出さないようにボタンが付いています。（温度調節ノブを **H** の方に回すと、目盛“40”付近で停止します）
- ・ やけどの恐れがあるため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。

※給湯ミキシング付きは、積水ホームテクノ(株)製 ユニッドバス：16 シリーズに対応の仕様（PN-391）です。

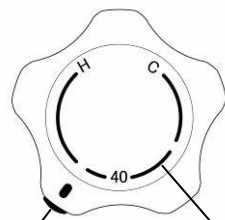
温度調節ノブ

流量調節レバー



ボタン

目盛



排水操作

1 排水レバーを「開ける」位置に回し、排水します。

参考

扉開閉水位まで水位が下がったら、排水レバーを「閉じる」位置に回すことで、湯量の消費を節約することができます。



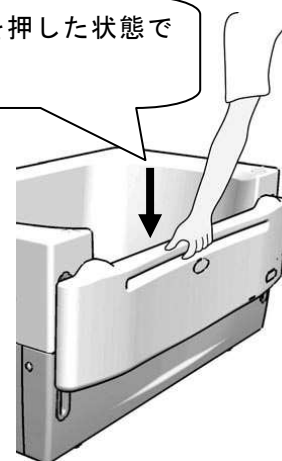
扉の開閉

開く（シールされた扉を下げるまでの手順）

★扉シールの解除、扉の下降

- 1 リモコンの扉シール**開く**ボタンを2～3秒押し続けます。
（扉シールとロックが解除されます。）
- 2 **開く**ボタンを押したまま、扉を下限まで下げます。

開くボタンを押した状態で
扉を下げる



参考

扉を下降させるときに、扉が上限位置のまま、**開く**ボタンから指を離すと、扉は再度ロックされます。
開くボタンを押しても、扉を下げる事が出来ない場合には、一度扉を上方向に引上げてから2の操作をして下さい。



警告 ・扉の下降時に指先の挟み込みに注意

扉の下降時に、扉と浴槽の間に指先が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

・扉シールを解除する前に必ず浴槽内の湯を扉開閉時水位まで排水する

扉開閉水位より湯があると多量の湯が一度に放出され、ユニットバスや狭い浴室の場合、脱衣室に排水が進入する恐れがあります。

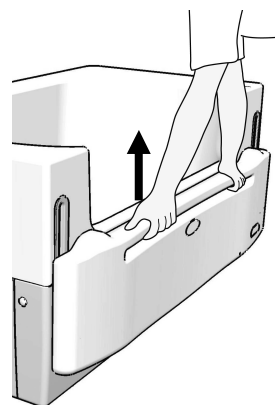
閉じる（下がっている扉を上げて、シールするまでの手順）

★扉の上昇

扉を上限まで持ち上げます。上限で扉はロックされます。



注意 扉を上昇させるときはスライドシートを浴槽内へ最後までスライドさせる



★扉をシールする

- 1 扉が上限でロックしたことを確認
- 2 リモコンの扉シール**閉じる**ボタンを長押しして、扉をシールします。
- 3 約4～5秒でシールが完了します。
- 4 ボタンから手を離します。



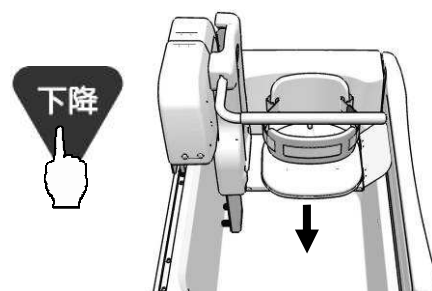
シートの昇降操作

★ シートの下降

リモコンの「下降」ボタンを押している間、シートが下降します。

○下降中に「下降」ボタンから手を離すと、その高さで停止します。

○「下降」ボタンを押し続けると下限で自動停止します。



「下降させるときは…」以下のことを確認

- シートの下に何も無いこと。
- 扉が上限でロックおよびシールされていること。
- スライドシートが浴槽内へ最後までスライドされていること。
- シートが手すりに対して正面を向いていること。

※扉が開いた状態では、シートは下降しません。

シートを下降させるときは、扉を上限でロックおよびシールしてください。



警告 シートの下降時の挟み込みに注意

シートを下降させるときにシートと浴槽底面の間に入浴者の手足が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

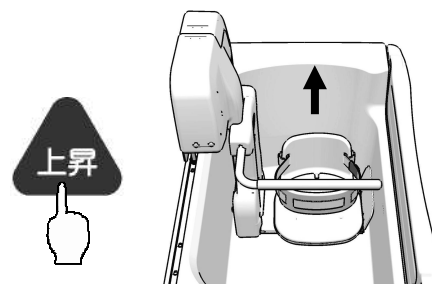
★ シートの上昇

リモコンの「上昇」ボタンを押している間、シートが上昇します。

○上昇中に「上昇」ボタンから手を離すと、その高さで停止します。

○「上昇」ボタンを押し続けると上限で自動停止します。

○移乗時には、必ず上限で自動停止するまでシートを上昇させてください。



参考

シートの上昇は、扉が開いた状態でも操作が可能です。



警告 シートの上昇時の挟み込みに注意

- ・ シートを上昇させるときは入浴者の身体が混合栓やバルブ付給湯カランにぶつからないように注意してください。
- ・ 入浴者の指先の安全を確認してから、シートを上昇させてください

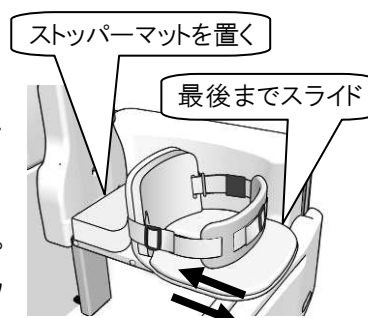


スライドシートの操作

スライドシートは、回転とスライドが可能です。

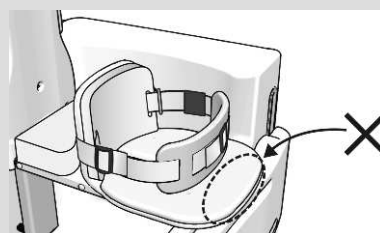
移乗時…スライドシートを扉側へ最後までスライドさせる。
(付属のストッパーマットを背もたれの裏側に置くと、スライドシートの回転とスライドを止められます。)

入浴時…スライドシートを浴槽内に最後までスライドさせる。
(ストッパーマットを使用した場合は、ストッパーマットを外してください。)



警告 ・スライドシートへ移乗させるときは、座面マットの中央にお尻が乗るようにゆっくりと移乗させること

スライドシートの端に極端に荷重が掛かった状態だと、スムーズにスライドさせられないことがあります。



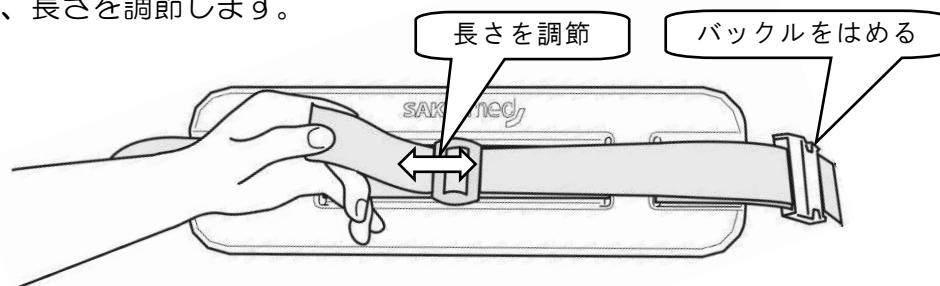
・スライドシートの浴槽内へのスライドはゆっくり

入浴者を浴槽内にスライドさせるときは入浴者の体を支えてゆっくりスライドさせてください。急いでスライドさせると転倒の恐れがあります。

注意 ストッパーマットを使用しないときは、浴槽内に落下しない場所に置く

安全ベルトの装着

スライドシートへ入浴者を移乗させたらパッド付き安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。



警告 スライドシート使用時は、安全ベルトを使用
スライドシートを使用するときは、安全ベルトを使用してください。

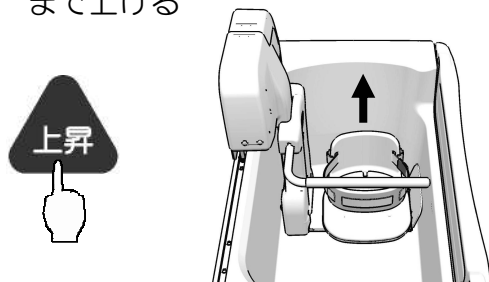
注意 安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたりしたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。
また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

入浴手順 PNS-320DC、PNS-310DC の場合

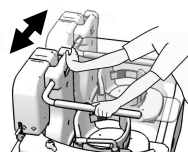
1 入浴準備

- ①シートが下がっている場合は、上限まで上げる



P.22 シートの昇降操作を参考

※PNS-310DC をご使用のお客様は、入浴者の状態に合わせて移動式昇降ユニットを右、左のどちらかの位置に移動します。



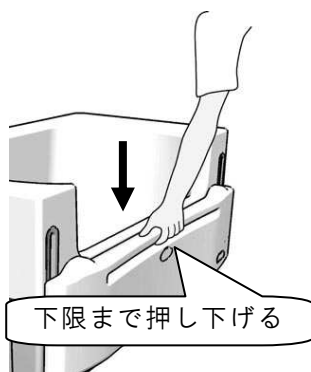
P16.昇降ユニットの横行操作を参照

P18.手すりの付け替え、脱着を参照

- ②扉を開ける



扉のシールとロックを解除



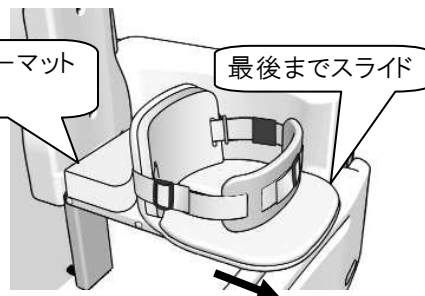
下限まで押し下げる

P.21 扉の開閉操作を参照

- ③スライドシートを扉側へ最後までスライドさせ、ストッパーマットを置き、バックルを外す

ストッパーマットを置く

最後までスライド



- ④排水レバーを閉じる

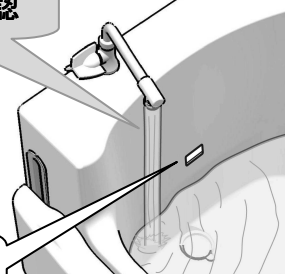
「閉じる」位置に回す



- ⑤扉開閉水位までお湯を貯める

⚠ 警告 湯温確認

扉開閉時水位

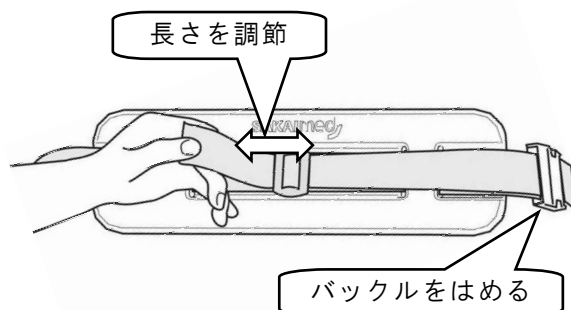


2 浴槽内への移乗

①入浴者をスライドシートに座らせる



②安全ベルトを装着する



P.23 安全ベルトの装着方法を参考

③ストッパーマットを外し、スライドシートを少し浴槽側へずらし、足を抱えて浴槽に入れる



④スライドシートを浴槽内にスライドさせる



手すりに対して身体とシートが正面を向くように

3 入浴

①扉を閉じる



上限まで持ち上げる

P.21 扉の開閉操作を参照

②扉シールを閉じる

リモコンの扉シール閉じるを長押しする。



P.21 扉の開閉操作を参照

③スライドシートを下降させる

⚠ 警告 挟み込みに注意



P.22 シートの昇降操作を参照

④入浴者の体格に合わせた適量を給湯

足側から給湯
(PNS-310)



⚠ 警告 湯温確認

4 出浴

①排水する



②スライドシートを上限まで上げる

⚠ 警告 肩の挟み込みに注意



P.22 シートの昇降操作を参照

③排水を停止する



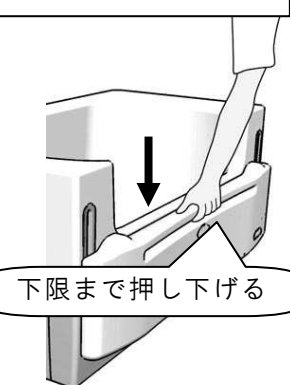
湯を全て入れ替えないときは扉開閉水位まで排水したらレバーを閉じる位置にします

④扉を開く

扉開閉水位まで排水されたことを確認



扉のシールとロックを解除



P.21 扉の開閉操作を参照

5 浴槽外への移動

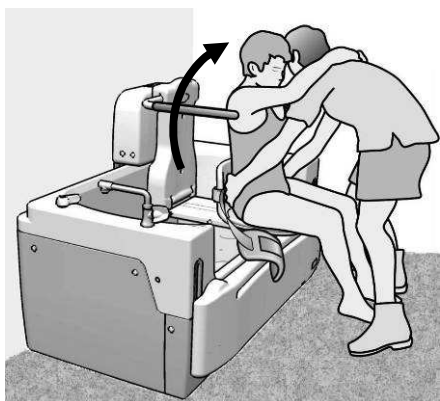
- ① スライドシートを扉側へスライドさせる



- ② 足を抱えて、下肢を浴槽の外に移動



- ③ 安全ベルトを外してスライドシートから立たせる



入浴手順 PNS-300DC の場合

1 入浴準備

①扉を開ける



扉のシールと
ロックを解除

下限まで押し下げる

P.21 扉の開閉操作を参照

②排水レバーを閉じる

「閉じる」位置に回す



③扉開閉水位までお湯を貯める

⚠ 警告 湯温確認

扉開閉時水位

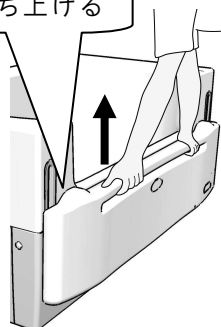
2 浴槽内への移動、入浴

①入浴者が浴槽内に移動



②扉を閉じる

上限まで持ち上げる



P.21 扉の開閉操作を参照

③扉シールを閉じる

リモコンの扉シール閉じるを長押しする。

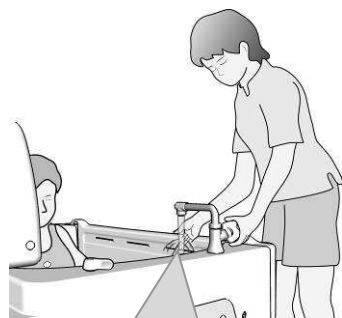


P.21 扉の開閉操作を参照

④入浴者が座る。



⑤入浴者の体格に合わせた適量を給湯



⚠ 警告 湯温確認

3 出浴、浴槽外への移動

①排水する



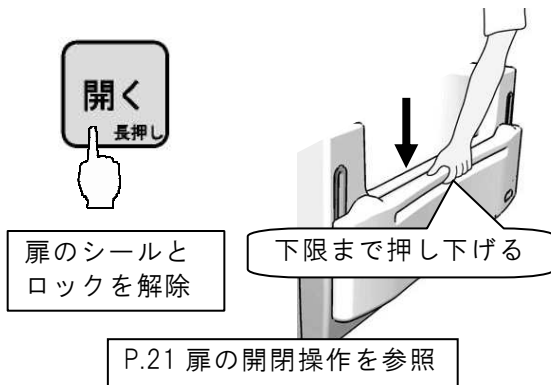
湯を全て入れ替えないときは扉開閉水位まで排水後、レバーを閉じる位置にします

②入浴者が立ち上がる



③扉を開く

扉開閉水位まで排水されたことを確認



④入浴者が浴槽外へ移動



入浴終了後の操作

◎ 1 日の入浴作業が終了したときは、以下の操作をしてください。

充電

- 入浴終了後は P. 14 のバッテリーの容量確認にそって、容量を確認します。容量が少なくなっている場合 P. 15 の充電方法にそって、充電を行なってください。

換気

- 浴室の窓を開けるなど十分に換気をします。浴室の湿度を下げて、湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

止水 (PN-391 のみ)

- 給湯ミキシングの流量調節レバーを止水側に回して閉めてください。

排水

- 排水レバーを「開ける」位置に回して、浴槽内の湯を全量排水してください。



注意 使用後は、必ず排水し、シールを開く

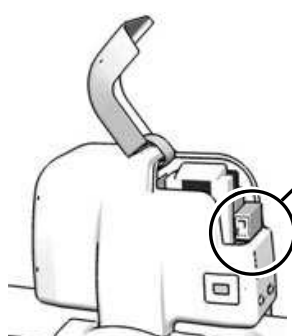
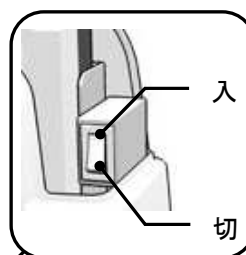
シール部にエア-を入れたまま長時間放置すると、シールゴムが変形し、水漏れを起こす恐れがあります。
また、水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなります。

「開ける」位置に回す

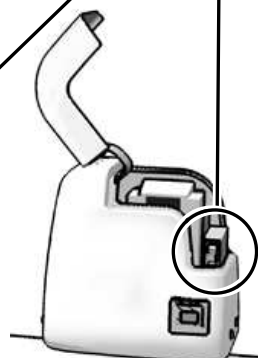


注意 長時間使用しないときは、電源を切る

長時間使用しないときは、電源を切り、バッテリーを取り外してください。

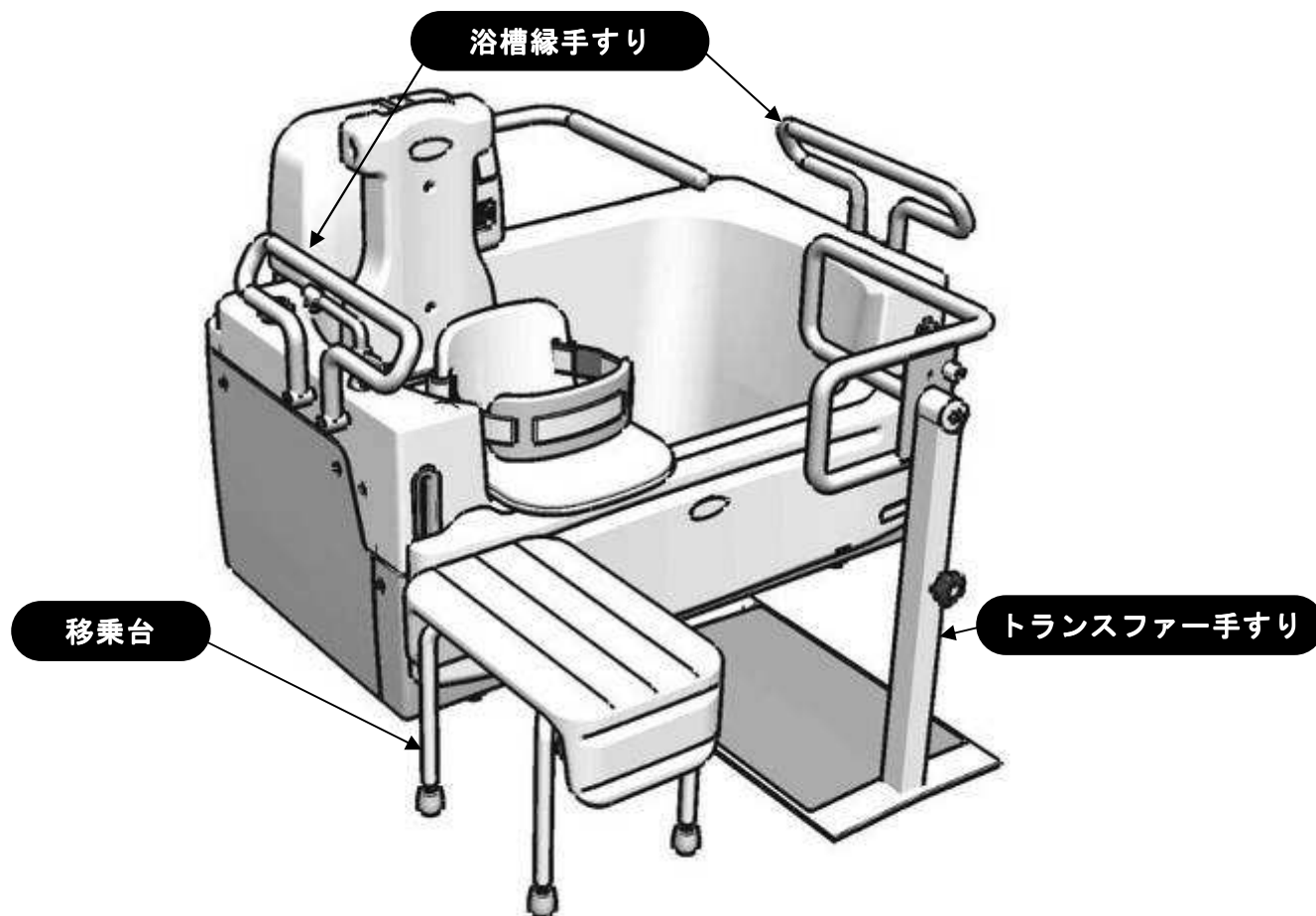


PNS-320DC
PNS-310DC



PNS-300DC

各種オプション品の取扱



浴槽縁手すり（PN-220）

浴槽へのトランスファーや、浴槽内へ移動する際、入浴者がつかむことで、移乗時の不安感が軽減できます。

※バルブ付給湯カランの給湯口を外側に回すと手すりと干渉する為、浴槽縁手すりを付ける場合は給湯口の回転範囲が制限されます。

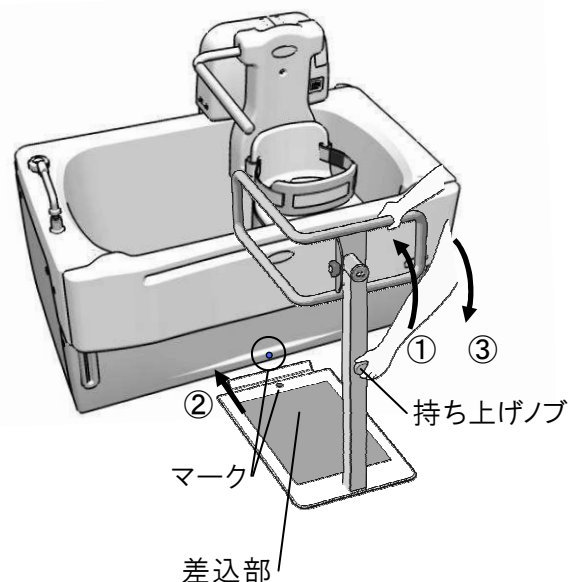
トランスファー手すり (PN-230)

浴槽外での立ち上がり動作時などに使用することで、入浴者の不安感を軽減することができます。手すり部を回転させることにより、入浴者のアプローチ方向に合わせるすることができます。

また、入浴者の介助時に邪魔な場合は取り外すことができます。

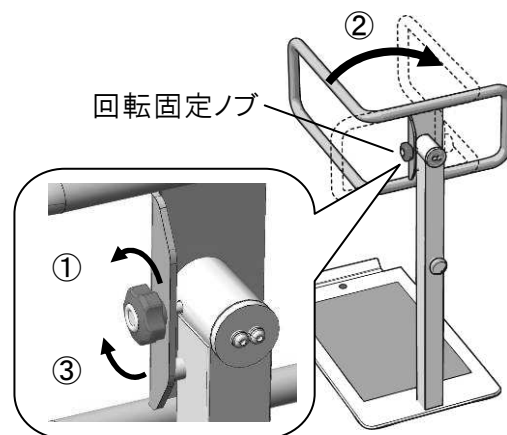
◆ 浴槽へのセット方法

- ① 持ち上げノブを握り、支柱側を持ち上げて、斜めに傾けます。(約 20°)
- ② ベース板と浴槽下部中央の青色マーク(●)を合わせて、ベース板の差込部を浴槽フレームに当るまで押し込みます。
- ③ 支柱側を床に降ろします。
- ④ 手すり本体を引っ張り、浴槽から外れないことを確認してください。
- ⑤ 取外す場合は、持ち上げノブを握り、支柱側を持ち上げて斜めに傾け(約 20°)、引き出します。



◆ 手すりの回転方法

- ① 手すりの回転固定ノブを反時計回りに回して、回転の固定を解除します。
- ② 入浴者のアプローチ方向に合せ、手すりを回転させます。
- ③ 位置が決まったら、手すりの回転固定ノブを時計回りに回して、回転を固定します。
- ④ 回転の固定が確実にされたことを確認してください。



⚠ 注意 トランスファー手すりを持ち運ぶときは、落とさないように注意
足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

移乗台 (PN-250)

車椅子からのトランスファーに使用することで、安定した浴槽への乗り移りが可能になります。また、浴槽外での洗身作業などにも利用することができます。

座面高さの調節範囲は 425～480 ミリです。範囲内で使用してください。

⚠ 警告 けがの恐れあり
座面高さは、425～480 ミリの範囲で使用ください。転倒の恐れがあります。

日常のお手入れ

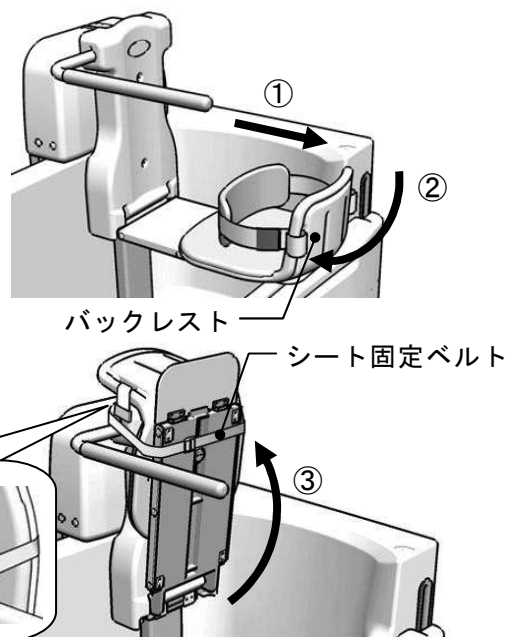
清掃

- 1日の入浴作業終了後は、浴槽内をきれいに洗浄してください。
- 昇降ユニット／コントロールユニットのカバーの合わせ目やリモコンには水をかけないでください。
- リモコンや昇降ユニット／コントロールユニットのカバー部は雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- 浴室床面を洗う際には、浴槽内部に水が跳ね返らないように注意してください。
- 本浴槽は FRP 製です。スポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。洗浄後は雑巾で軽く拭き取ってください。
- 洗剤は市販の浴槽用中性洗剤をご使用ください。
- 座面マット・背当てマット・安全ベルトは取り外して市販の中性洗剤で洗浄し、陰干ししてください。（脱着方法 P.35 を参照）

スライドシートの跳ね上げ

浴槽内の清掃時、スライドシートがじゃまになる場合は、下記の手順でスライドシートを跳ね上げることができます。

- ① スライドシートを扉側へ最後までスライドさせます。
- ② スライドシートを回転させ、バックレストを扉側へ向ける
- ③ レールフレームまたはスライドシートを両手で持って、最後まで跳ね上げます。
- ④ 付属のシート固定ベルトを使用し、レールフレームを固定します。



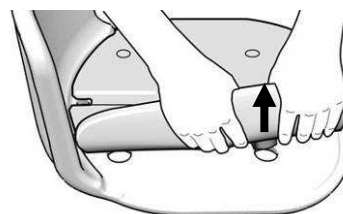
- 注意** ・スライドシートは上限まで上昇させ、バックレスト（腰当）を扉側に回転させてからスライドシートの跳ね上げを行う
定位置以外でスライドシートを跳ね上げても固定できません。
- ・スライドシートを跳ね上げるときは、台板を持って跳ね上げない
台板を持って跳ね上げると破損する恐れがあります。
- ・シートは最後まで跳ね上げてシート固定ベルトで固定する
固定しないとシートが倒れてけがをする恐れがあります。

座面マットの脱着

座面マットのマット表面のふくらんでいる部分（下図中●印の部分）の裏側に差込凸部があります。その部分をマット表面から押してしっかり差し込んでください。

外す

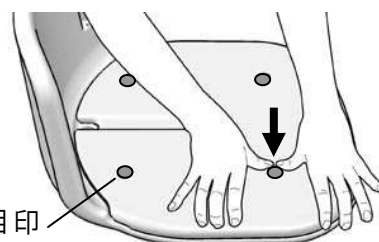
マット裏の差込凸部の両側を両手で持つようにして、マット止めの穴から一つずつゆっくり外します。



着ける

マットをスライドシートに合わせ、マット止めの穴と差込凸部が合っていることを確認してから、マットの表面から差込凸部分を押して、穴にしっかり差し込みます。

差込凸部の目印



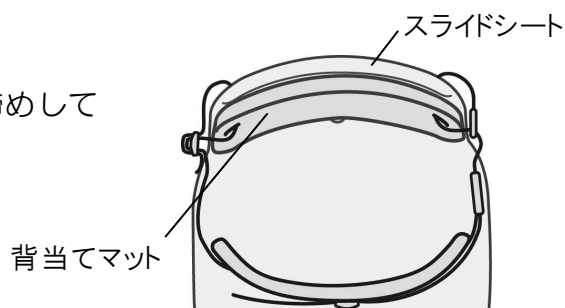
注意 マットの損傷に注意

古くなって破れたり、差込凸部が損傷し固定することができなくなったら、新しいものと交換してください。

背当てマットの脱着

安全ベルトをマットとシートの穴に通し共締めして取り付けます。

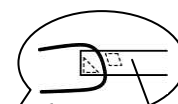
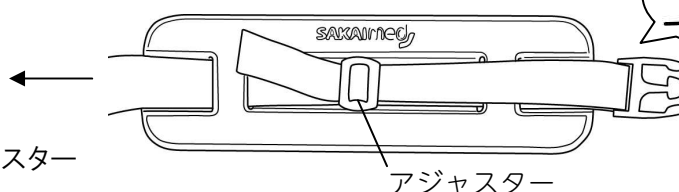
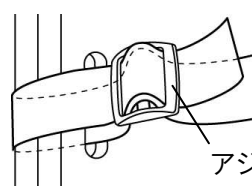
外すときはベルトと共に外してください。



安全ベルトの脱着

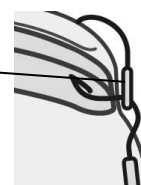
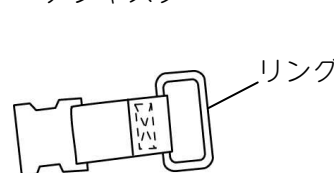
ベルト（長）は、片側をシートの穴に通してアジャスターで留めます。もう一方はパッドに通し途中でアジャスターを通しておきます。

バックルに図のように通し、パッド部のアジャスターで留めます。



バックル

ベルト（短）は、リングをシートの穴に通して図のように取り付けます。



薬液について

浴槽を殺菌する場合は、次亜塩素酸ナトリウム（6%溶液）を使用してください。
他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用したりしないでください。

⚠ 危険 次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない
人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

★薬液殺菌方法

（塩素濃度 約 1ppm の殺菌）

浴槽とスライドシートの殺菌を行うものです。

◎毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

	作 業 手 順	備 考
1	スライドシートを浴槽内にセット	PNS-300 にはありません。
2	浴槽に水(湯)を入れる（追加する）	満水近くまで入れシートが湯に浸かる状態にします。
3	塩素 7cc を浴槽へ投入	液は次亜塩素酸ナトリウム 6% 溶液。 （満水の湯量 347ℓ に対して、1ppm の塩素濃度になります。－当社推奨値－） シートに直接かからないように注意
4	水(湯)をよく攪拌	水(湯)を攪拌し、殺菌します。
5	3 分間放置	
6	排水する	
7	スライドシートを上げる	PNS-300 にはありません。
8	浴槽とシートをシャワーで水洗いする	塩素をよく洗い落とします。
9	乾拭きする	
10	室内を換気する	

⚠ 注意 次亜塩素酸ナトリウムの原液をスライドシートやカバー類に直接かけない
かけた場合は、変色、破損の原因になる恐れがあります。

このようなときには

使用中にトラブルが発生した場合は、以下の項目を点検してください。

それでも正常に動作しないときは、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

症 状	原 因	対 策
バッテリーの容量が表示されない	電源が「切」になっている。	電源を「入」にしてください。
	バッテリーが取り付けられていない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーを取り付けてください。※
	バッテリーの容量がない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーに交換してください。※
バッテリーの容量表示が変動する	バッテリー容量表示機能の特性。	・動作停止後、1 分程度お待ちください。 ・電源を一度切ってください。
シートが下降しない	扉がロックされていない。	扉を上限まで上げてロックしてください。
	昇降ユニットが定位置にない。	昇降ユニットを定位置までスライドさせてください。
	シートの下に何か挟み込んでいる。 (安全装置作動のため)	挟み込んでいるものを取り除いてください。
	バッテリーの容量がない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーに交換してください。※
	連続押し防止の安全装置が作動している。	1 秒以上の間隔を空けて、押してください。
シートが上昇しない	バッテリーの容量がない。	充電されたバッテリーに交換してください。※
	連続押し防止の安全装置が作動している。	1 秒以上の間隔を空けて、押してください。
給湯しても湯が貯まらない	排水レバーが「開ける」位置にある。	排水レバーを「閉じる」位置にしてください。
排水されない	排水レバーが「閉じる」位置にある。	排水レバーを「開ける」位置にしてください。
	排水口の目詰まり。	目皿のごみを取り除いてください。
扉がロックしない	扉が上限まで上がっていない。	扉を上限まで上げてください。
扉のロックが解除できない	バッテリーの容量がない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーに交換してください。※
	扉に体重がかかっている。	扉を持ち上げ、スイッチの開くボタンを押してください。
扉のシールができない	扉が上昇限まで上がっていない。	扉を上昇限まで上げてください。
	バッテリーの容量がない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーに交換してください。※
扉のシールが解除できない	扉に体重がかかっている。	扉に寄り掛かるのをやめた後、一度扉を持ち上げ、スイッチの開くボタンを押してください。
	バッテリーの容量がない。	P15 のバッテリー着脱方法にしたがって、充電されたバッテリーに交換してください。※
(PN-391 のみ) 給湯温度が安定しない	ストレーナが目詰まり	最寄りの営業所にご連絡
	圧力比が適正範囲外	圧力比を適正值に調節してください。 P. 13 参照
	他の設備で大量に使用している。	・使用時間の調整 ・給湯器の能力アップ

※容量表示が25%(コンセントマーク表示)より少なくなると充電ができなくなるので、ご注意ください。

・その他、ご不明な点につきましても最寄りの営業所にお問い合わせください。

機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品の使用を再開する場合は、機器が正常に動作するか十分に点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバー、スライドシートのはずれ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視または、触って確認
	浴槽内の汚れ、または不要物	目視
機能	バッテリー容量表示の確認 容量表示が 25%（コンセントマーク表示）になったら、必ず充電してください。	動作停止後、約 1 分後の表示を目視にて確認
	シート昇降の作動確認 (PNS-310、320)	シートが上昇及び下降することを確認
	扉昇降の作動確認	扉が上昇及び下降することを確認
	扉シール開閉の作動確認	扉シールが閉じ、開くことを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全にご使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧ください。
か、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

★ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

★ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
 - ・機種名 : PNS-320DC、PNS-310DC、PNS-300DC
 - ・お買い上げ： 年 月
 - ・故障状況(できるだけ詳細に)
 - ・住所、氏名、電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

★ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

★ 消耗品

（使用により、磨耗・劣化・変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- ・ 正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。
バッテリー / 扉シール / ワイヤロープ / 座面マット / 安全ベルト /
背当てマット / ストッパーマット
- ・ 正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。
手すりグリップカバー / ミキシングバルブ (PN-391)

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

★ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型 式		PNS-320DC	PNS-310DC	PNS-300DC
外形寸法		1300 (L) × 812 (W) × 942 (H) mm		1300 (L) × 812 (W) × 947 (H) mm
浴槽内寸法		1140 (L) × 628 (W) × 590 (D) mm		
実使用湯量		約 290 ℓ (水位上限位置) 約 190 ℓ (扉開閉水位)		約 295 ℓ (水位上限位置) 約 190 ℓ (扉開閉水位)
最大搭乗質量(入浴者)		100 kg		
質 量		約 110 kg		約 70 kg
座面昇降方式		電動モータ式によるワイヤー巻上げ方式 バッテリー (DC24V)		—
扉シール方式		電動モータ式 + ダイアフラムによるエア式 バッテリー (DC24V)		
材 質	フレーム	ステンレススチール		
	浴槽・カバー	F R P		
	昇降ユニットカバー	F R P		—
	コントロール ユニットカバー	—		F R P
	扉	プラスチック (ポリプロピレン)		
	スライドシート 支柱カバー	プラスチック (ポリプロピレン)		—
	座面マット	ポリエチレン		—
安全機構		挟み込み防止機能 (シート下面での挟み込み時、 シート下降自動停止) 昇降ユニット位置感知機能 (シート上昇限、 シート下降限) 扉位置感知機能 (扉上限位置のみ、シート下降可)		—
付 属 品		• バッテリー • 充電器 • リモコン • リモコンホルダー • バルブ付き給湯カラン • 浴槽内手すり • シート固定ベルト • ストッパーマット • 背当てマット		• バッテリー • 充電器 • リモコン • リモコンホルダー • バルブ付き給湯カラン

注. 都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。